

い　へ　や　じま

伊平屋島

IHEYA
island

だから、
伊平屋島に
行ってみる。

ふと、一人になりたくなることがある。
ふと、一人は寂しくなることがある。
ふと、自然に触れてみたくなる。
ふと、人の優しさに触れてみたくなる。
本やネットじゃ味わえない、
自然や歴史、温もりを感じたくなる。
するとふと、島旅に行きたくなる。

そのままの自然、
だからいい

田名のクバ山／念頭平松／
米崎海岸／くまや洞窟

ぶらり、
集落さんぽ
我喜屋集落／島尻集落

2泊3日で巡る、
北部離島の旅
伊平屋島／野甫島／
伊是名島



新フェリーいへやⅢで バリアフリーの快適旅(平成26年4月運行)



フェリー

《フェリー内部》



エレベーター



バリアフリーストイル

フェリー料金表

大人(12才以上)	片道	2,440円	往復	4,640円
小人(6~12才未満)	片道	1,220円	往復	2,320円
身障者	大人片道	1,220円	小人片道	610円

※その他、伊平屋村に入域される方から伊平屋村環境協力税100円を別途徴収致します。

フェリー自動車航送運賃表(往復) ※運転手1人分の料金込み

《車両の長さ》

3m~4m: 15,580円 / 4m~5m: 19,280円

※その他の車両の長さの場合はお問い合わせください。

その他の運賃表(往復)

自転車: 2,020円 / 原付: 4,040円 / 自動二輪車: 8,140円

フェリーに関するお問い合わせ



運天港連絡事務所 …… ☎ 0980-56-4265

伊平屋島観光に関するお問い合わせ



伊平屋村役場 総合推進室 …… ☎ 0980-46-2800
<http://www.vill.iheya.okinawa.jp/>
 伊平屋島観光協会 …… ☎ 0980-46-2526
 伊平屋村商工会 …… ☎ 0980-46-2912
<http://www.iheya-shokokai.sakura.ne.jp/>

アクセス

Access

伊平屋島へのアクセス

~80分間の船旅~

フェリー時刻表

《1便》	伊平屋発(9:00)→運天港着(10:20)
	運天港発(11:00)→伊平屋着(12:20)
《2便》	伊平屋発(13:00)→運天港着(14:20)
	運天港発(15:00)→伊平屋着(16:20)



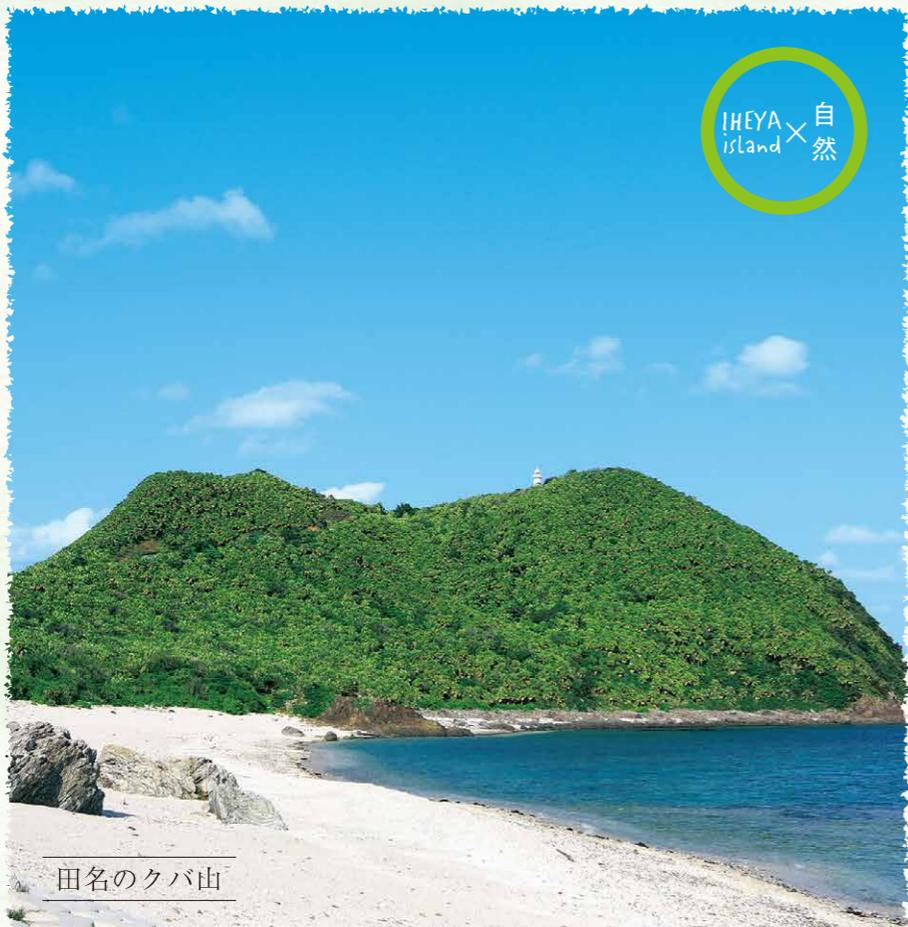
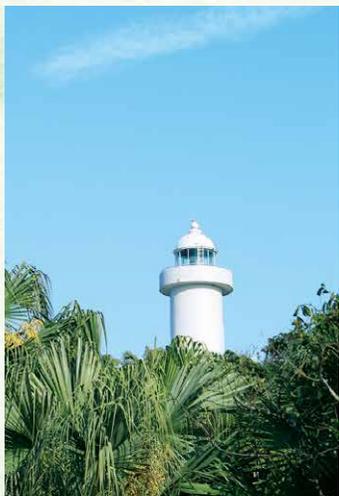
伊平屋島へ向かう運天港までは、那覇市内から車で約2時間です(沖縄自動車道利用時)。運天港に駐車場(1泊500円)もございます。

また、那覇バスターミナルから名護バスターミナルまでバスも運行しています。名護バスターミナルから運天港まではタクシーで約20分です。

IHEYA island × 自然

田名のクバ山

クバ山は『琉球国由来記』に「三崎御イベ(島中祈願所)アウサキ森(神名)」と記されており、古くから神聖な場所とされていたことが分かる。頂上には灯台があり、沖縄本島だけでなく与論島も望むことができる。県指定天然記念物。

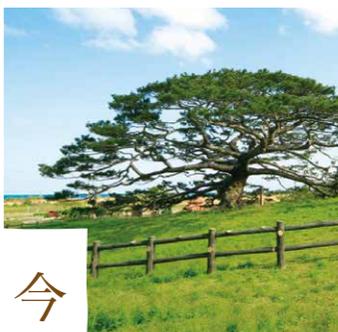
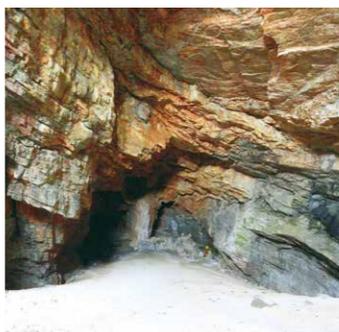


田名のクバ山

そのままの自然、だからいい

島の東北端に広がるクバー面の聖域

島全体の約7割が山で成り立つ伊平屋島。前泊港から北に向けて車を走らせると、県内では珍しい水田風景が広がり、その水面に映り込む美しい山々の姿はまさに伊平屋島のダイヤモンド富士のようです。そんな景色を横目に走り続けること約15分。島の東北端に、クバ(ビロウ樹)で一面を覆い尽くされた山が見えてきます。これが青い空と海、そして白い砂浜に映える深緑が見事なコントラストを生み出す絶景ポイント田名のクバ山です。山全体が県の天然記念物に指定されており、ここで採れる良質のクバの葉で編んだクバ笠は、一流琉球舞踊師たちの小道具として使用されることもあります。また、クバ山の裏には「潮下浜^{スীগハマ}」という美しいビーチが広がっています。西に見える無蔵水^{んぞみじ}とヤヘー岩の向こうに沈む夕日はとてもロマンチックです。



今、大切なものを



見つける旅へ。

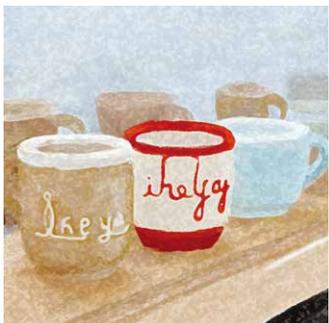
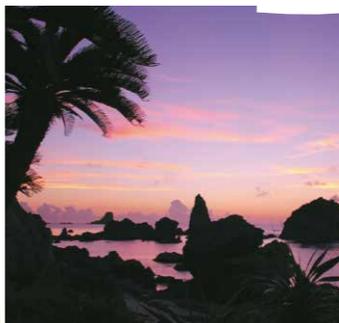


伊平屋村 DATE

村民の数:約1,300人
広さ:21.72 km²
信号機:1つ
小中学校:各2校
フェリー:1日2便



平成26年3月末現在





くまや洞窟

念頭平松 ねんとうひらまつ

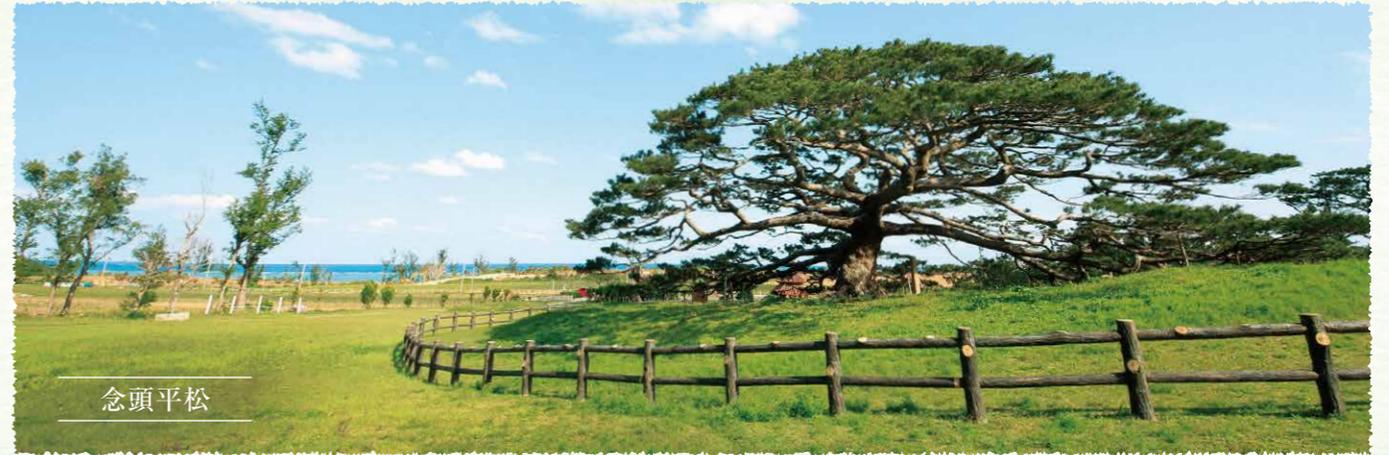
平成2年に新日本名木百選に認定された、樹齢約300年の県指定天然記念物。松の佇む公園内には、幹の大きさを再現した切り株型の案内板がある。

米崎海岸 よねざきかいがん

野甫島の展望台から、米崎海岸と野甫大橋を見晴らす景色は絶景。隣接する「いへや愛ランドよねざき」はトイレ、温水シャワーなども完備されたキャンプ場。

くまや洞窟

自然のまま残されており、現在も変化を続けている。そのため、落石などには十分注意してほしい。



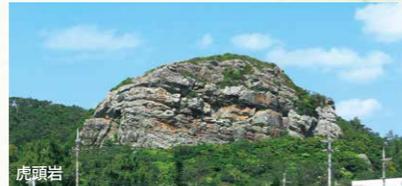
念頭平松



米崎海岸

伝説が残る島の岩

伊平屋島には様々な伝説が残る岩が点在しています。今帰仁の軍勢から島を守ったと言われている「ヤヘー岩」や、昔祝女（ノロ）が馬に乗る時の台座にしたと伝えられる「田名祝女の馬乗り岩」などがあります。また海岸の岩の上であるにもかかわらず常に真水が滲えられているという「無蔵水（んぞみじ）」は、海へ出て戻らない夫の帰りを美しい妻が何年も待ち続けた場所という夫婦愛の伝説が残っています。



伊平屋島を訪れたなら外せない観光名所の一つ念頭平松は、高さ約8メートル、最長幅14.5メートル、幹の太さ3.7メートル。伊平屋人の暮らしを、約3世紀にわたって見守り続けてきた伊平屋島のシンボルです。眺める方向、見上げる角度によって様々な表情を見せてくれます。また野甫島へと続く野甫大橋の手前には、島内随一の美しいビーチ米崎海岸が広がっています。透明度が高く、エメラルドグリーンと深い青が混ざり合ったようなココロで見られない不思議な色合いが特徴です。そして、クバ山の横に位置するくまや洞窟は、江戸時代の学者・藤井貞幹が天照大神ゆかりの天岩戸伝説の場所であると唱えた場所。人が一人ギリギリ入れるほどの狭い入口を抜ければ、そこには驚くほど広い空間が広がっており、その神秘的な光景を見ればつい時間が経つのを忘れて佇んでしまうことでしょう。

伊平屋人と歩んできた巨木と海と自然の神秘

琉球王朝始まりの地？ 島人の暮らしを辿る

前泊港の目の前には、伊平屋島の歴史を詳しく知ることができる伊平屋村歴史民俗資料館があります。まずはここで昔の島人の暮らしや戦争前後の伊平屋村の様子など、伊平屋村の歩みを学んでから観光すると、より深く伊平屋島を感じることができるといでしょう。また伊平屋島は、琉球王国第一尚氏王朝の始祖である尚巴志の祖父・鮫川大主の出生地とも言われています。またその父である屋蔵大主は約600年前、現在の我喜屋集落に住んでいたとされ、その魂を祀るために屋蔵海岸の洞窟を利用して建てられた屋蔵墓は、現在も島人にひっそりと守られています。

そして我喜屋集落と島尻集落では、神アサギを見ることが出来ます。アサギとは、祭祀の日に神々が祝女（シャーマン）に乗り移り、降臨する場のことです。周りは広々とした遊び場で、季節ごとに様々な神遊び（神事の歌舞が行われています）

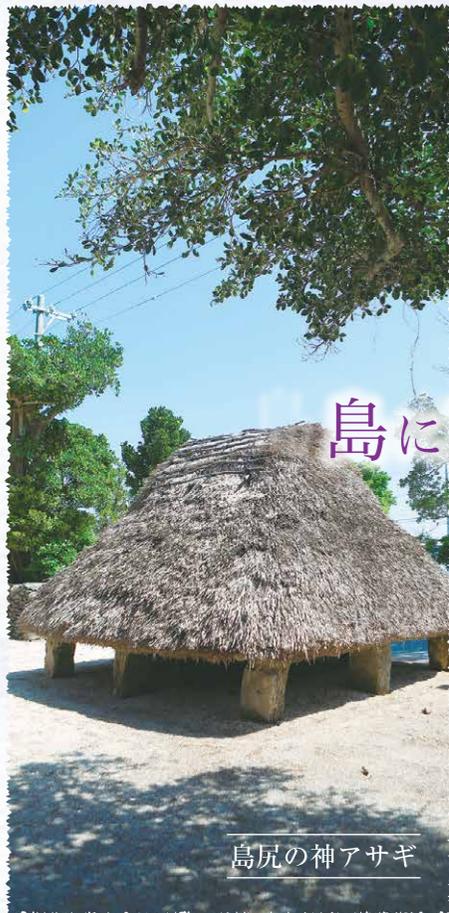


伊平屋村歴史民俗資料館

伊平屋村歴史民俗資料館

営 10:00～17:00
☎ 0980-46-2384
休 月曜日・慰霊の日(6月23日)・年末年始
料 高校生以上 200円(団体割引 1人160円)
小中学生 100円(団体割引 1人80円)
※団体は20名以上

島に刻まれた、歴史の足跡



島尻の神アサギ



屋蔵墓



我喜屋の神アサギ

久里原貝塚 縄文～弥生時代の複合遺跡

伊平屋島にはいつから人が住んでいるかなど、詳しいことは分かっていません。しかし、前泊区では貝塚時代前期の土器や装身具などが出土した久里原貝塚が発見されており、古くから人々の営みがあったことがうかがえます。



我喜屋の神アサギ

我喜屋集落の外れに位置し、現在でも豊年祭の時はこの周りの広場で棒の演武や古典舞踊等を奉納している。県指定有形民俗文化財。

屋蔵墓

造りは簡素だが、それ故に歴史の重みを感じさせる佇まい。

島尻の神アサギ

島尻集落の中心に位置している。我喜屋のアサギが4本柱なのに対し、このアサギは8本柱なのが特徴。県指定有形民俗文化財。

生き続ける伝統行事

伊平屋島は「民俗学の宝庫」と称されるほど、沖縄の古くからの伝統行事が多数残っています。島を訪れた際、何かの行事が行われていたらぜひ足を運んでみてください。これまでに見たことも感じたこともない、不思議で情熱的な世界へご案内します。

ウンジャミ(海神祭)

田名のウンジャミは旧暦7月17日に行われる。ウンジャミとは、海の彼方から訪れて海の幸、山の幸を授け、島の繁栄をもたらす海の神のこと。その海の神々をお迎えして島の繁栄と平和を祈願し、その後お送りする祭祀が現在も続いている。



シヌグ行事

子どもの健康と子孫繁栄を祈願する。

八月遊び(豊年祭)

男性による棒術と、女性による琉球舞踊が披露される祭典余興。拝所や公民館で行われる。

ウシデーク(白太鼓)

女性達の輪踊り。女性が踊り楽しむことで、健康への願いを捧げる。

心の拠り所 拝所

5つの集落にはそれぞれ神社が建っており、様々な行事が行われています。この神社が建っている場所は、元々各集落の拝所(御嶽)や殿内(どんち)でした。そこに戦後各拝所の火神を1ヶ所に統合して崇拝することになり、鉄筋コンクリート造りの御宮を建造して神社と命名しました。現在我喜屋集落の片隈神社は、緋寒桜の名所として親しまれています。



サンゴの石垣に赤瓦 人の温もりに触れる

島旅の最大の魅力とは、その土地ならではの生活習慣や、素朴な暮らしの中だからこそ生まれる人の温かさに触れることではないでしょうか。島人たちの営みは、日々の喧騒から離れて緩やかな時間を過ごしたいと願う旅人を、優しく包んでくれます。

伊平屋村は伊平屋島と野甫島の2島から成り、北から田名、前泊、我喜屋、島尻、野甫の5つの集落で形成されています。なかでも昔ながらの村並みが残っているのは、我喜屋集落と島尻集落。サンゴの石垣やそこに咲き乱れるブーゲンビリア、そして赤瓦の屋根が愛らしい民家など、「これぞ沖縄の離島の風景」という旅人の理想が詰まったエリアです。道行く島人との何気ない挨拶や世間話、そして各集落にある商店は情報収集にはもってこいです。出会う人皆がお友達、そんな伊平屋人たちの暮らしにそっと混ぜてもらいませんか。きっと、素敵な出会いが待っています。



ぶらり、集落を歩けば

島人の息づかいが聴こえる





ムーンライトマラソン



いへやまつり



我喜屋の大綱引き

島旅に、プラスαの輝きを



ソルトクルーズ



世界塩の探検館
ソルトクルーズ
営業 13:00~18:00
(日曜日は8:00~13:00)
休 火・水曜日
☎ 0980-46-2180

ムーンライトマラソン

県内外から1,000人を超すランナーが参加する、県内でも珍しいナイトマラソン。

いへやまつり

ハーリー、魚のつかみどり、沖釣り、舞台ライブなどで盛り上がる、島最大の祭り。

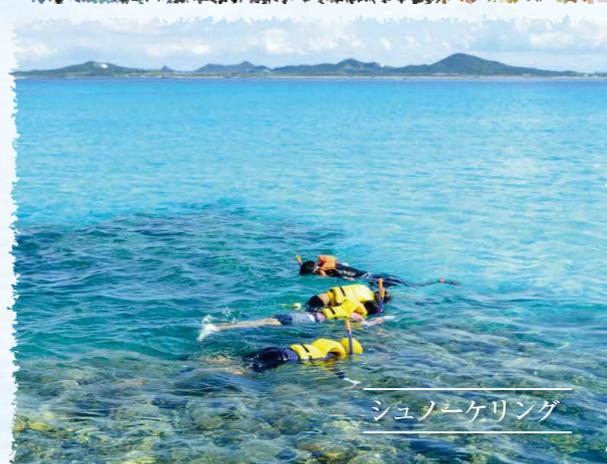
我喜屋の大綱引き

旧暦6月25日、五穀豊穡を願って行われる伝統行事。観光客の飛び入り参加も可能。

遊びの達人たちが、好む海



ダイビング



シュノーケリング



フィッシング

フィッシング

伊平屋村漁業協同組合 ☎0980-46-2870

ダイビング・シュノーケリング

伊平屋島の海は、玄人ダイバーのリピーターが多いのが特徴。シュノーケリングも楽しめる。

North Island (ノースアイランド) ☎0980-46-2625
ダイビングショップ JIN ☎0980-46-2567



伊平屋島はリピーターが多いのも特徴の一つです。その理由は、知る人ぞ知る好釣場だから。近年ますます釣り(フィッシング)の好ポイントという評判が広がり、夏場は家族連れや初心者も多く訪れています。大物を狙うなら、冬場がおすすめです。ただし天候が荒れる季節のため、十分な時間と計画が必要です。また抜群の透明度を誇るため、ダイビングやシュノーケリングも楽しむことができます。そして、美しい海だからこそ生まれた野甫の塩は、今お土産として密かなブーム。塩作人が建てた世界の塩が集まるソルトクルーズで購入することができます。

“通”が集まる
人気スポットが満載

Drive map in Iheya island

ドライブMAP 伊平屋島

-  ビーチ(海水浴)
-  港(漁港)
-  ガソリンスタンド
-  ホテル・民宿
-  お店
-  観光スポット
-  お食事処
-  県道179号線・バスルート



車に乗って約40分でグルッと1周できる小さな島には、こんなに多くの魅力が点在しています。自然も歴史もイベントも、いろいろな伊平屋島があなたを待っています！

レンタカー情報

- 【レンタカーでドライブ】 レンタル伊平屋 ☎ 0980-46-2090
- 【レンタサイクルで散策】 大城レンタル ☎ 0980-46-2359
- 【楽チンタクシー移動】 ハブタクシー ☎ 0980-46-2373

バス情報

伊平屋村コミュニティバスも走ってる！
 【利用運賃】 一律 100円 《お問い合わせ》 ☎ 0980-46-2001
 ※小学生以下は無料 ※障がい者手帳をお持ちの方は50円
 団体には観光バスが便利！
 伊平屋観光交通 ☎ 0980-46-2548

1日6便

IHEYA island × 食べる

海と大地の、 恵みをいただく

アーサやもずくの養殖が盛んな伊平屋島。さらにミールバイの養殖も行っているため、一年中ミールバイ汁を食べられるのが魅力です。また、鮮度を保つために島内でしか販売されていない島そばは、お土産としても大人気。もちろん、各飲食店でも提供しています。伊平屋島は沖縄県のコメどころでもあるので、甘みのある島内産の白米もぜひ味わってください。



お食事処リスト

- 海産物料理海魚 ☎ 0980-46-2544
- お食事処みなと ☎ 0980-46-2251
- ドライブイン伊平屋 ☎ 0980-46-2548
- 居酒屋ふる里 ☎ 0980-46-2041
- 釣り吉 ☎ 0980-46-2559

宿泊先リスト

- ホテルにしえ ☎ 0980-46-2145
- 伊平屋観光ホテル ☎ 0980-46-2123
- 松金ホテル ☎ 0980-46-2282
- ペンション山川 ☎ 0980-46-2047
- 民宿内間荘 ☎ 0980-46-2503
- 宿舍みらい ☎ 0980-46-2558
- 民宿むらどうんち ☎ 0980-46-2502
- 古民家むーる(民泊) ☎ 0980-46-2957
- いへや愛ランドよねざき(キャンプ場) ☎ 0980-46-2570
- 民泊問い合わせ
伊平屋島観光協会 ☎ 0980-46-2526
伊平屋村商工会 ☎ 0980-46-2912

伊平屋島への旅において、宿泊はアクセス上必須条件です。プライベートな空間を保てるビジネスホテルタイプや、ご主人や他の旅人との交流が楽しい民宿タイプ。そして、最近では普通のお宅に泊まる民泊も注目を集めています。

一期一会の 出会いがココに

IHEYA island × 泊まる



1日目 伊平屋島 / 12:20着



1 いざ、目指すは伊平屋島
フェリーで約80分、緑の山々で成り立つ島はもう目前！非日常の世界への期待に胸が高鳴る。

モデルコース
Model Course
【2泊3日】の旅
伊平屋島～伊是名島

せっかく伊平屋島を旅するなら、伊是名島にも足を延ばしてみませんか？以前は同じ行政区だったこの2島。それぞれの趣が旅人の心を癒してくれます。



5 伊是名島への船をチャーター
伊平屋島と伊是名島を結ぶ定期便はないため、船をチャーター。片道5,100円～(人数により異なる)
前田渡船 …… ☎090-7585-5572
いげな島観光協会 …… ☎0980-45-2362

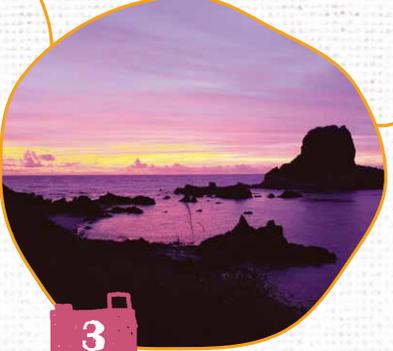
2日目



4 野甫大橋を渡りもう一つの島へ
橋が架かるまでは、船で行き来していた野甫島へ。野甫島の展望台から見る大橋と米崎海岸は絶景ポイント。



2 ぶらり集落散歩
まずは、サンゴの石垣や赤瓦の民家が多く残る我喜屋集落をお散歩。すれ違う島人との会話も楽しんだ。



3 美しい夕日は必見
遮るもののない水平線へと沈んでいく夕日は圧巻の風景。帰り道は月明かりが頼りとなるのも乙なもの。

3日目 伊是名島 / 13:30発



6 伊是名城跡など歴史巡り
第二尚氏王朝の始祖、尚円王の出生地でもある伊是名島。琉球王国の歴史を動かした人物の軌跡を辿る。

7 島旅最後の朝
島旅最後の朝は、海ギタラ・陸ギタラへ。朝日が昇るのを見届けたら、島一周ドライブを楽しむのもいい。

見学もできる！
島唯一の酒蔵
伊平屋酒造所



昭和23年に伊平屋酒造組合としてスタートした酒造所。現在も製造した泡盛の多くが島内で消費され、「一家に一升の照島」が伊平屋人の常識。事前の予約で酒造所の見学もできる。

住 伊平屋村字我喜屋2131-40
☎ 0980-46-2008
営 9:00～17:30
休 土・日曜日



- もずく黒糖クッキー
アーサクッキー
- 伊平屋島のあおさ
- 5年熟成古酒 芭蕉布
照島 しまぐみ/照島
- 塩夢寿美
(塩博物館でのみ販売)
- 伊平屋島産 一口黒糖
- 太もずくとあーさの佃煮
- 伊平屋 島そば

島のお土産のほとんどは前泊港のターミナルで購入できます。素材そのままの味を楽しめるあおさやもずく、コメはもちろん、ひと手間かけた加工品まで幅広く取り揃えています。気軽に配れる一口黒糖やアーサクッキーをはじめ、島内でしか販売していない伊平屋島そばは大人気。離島フェアで優秀賞を獲得した太もずくとあーさの佃煮もおすすめです。また、芭蕉布や照島、しまぐみなども泡盛好きにはたまらない逸品です。

島の味を
持って帰る